兵庫県医療ソーシャルワーカー協会
第 20 回実践発表会　演題募集のお知らせ

会員の皆様から日々の実践の中で「考えていること」「伝えたいこと」「まとめたいこと」などを実践発表、研究発表として募集し、みんなで学びあう場を企画します。

自分自身の振り返り、実践のまとめ、腕だめしとして、是非ともあなたの日頃の実践を紹介してください。

演題募集要項

1、テーマ

ソーシャルワーク業務に関する実践報告、調査研究、業務分析など（自由演題）

2、実践発表会・日時

日程：２０２７年２月２７日（土）　時間：１４：００～１６：３０（予定）

3、実践発表会・場所

（予定）　＆　　zoom

4. 申し込み資格

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会会員（個人正会員に限る）

※当協会正会員を代表とするグループ発表は可

5、発表方法

口述発表　１０分　質疑応答８分（パワーポイント使用可）

（ご発表いただく方には、後日、発表要綱をご案内致します。）

6、申し込み方法

1）演題申し込み　　締め切り　2026年12月18日（金）必着

裏面申し込み用紙の内容(発表趣旨と必要事項等)を下記申し込み先までメールにてお送り下さい。（締め切り後１週間を過ぎても連絡がない場合には再度お問い合わせください）

2）抄録原稿の提出　　締め切り　2027年1月15日（金）必着

抄録原稿はＡ４用紙（縦）２枚（横書き・図表等含む）でお願いします。

そのまま印刷しますので、下記までメールでお送り下さい。

7、申し込み・お問い合わせ先

企画担当メール（返答には数日のお時間を頂戴します。ご了承ください）

hmsw.kenshu@gmail.com

（エイチエムエスダブル ドット ケイイーエヌエスエイチユー@gmail.com）

兵庫県医療ソーシャルワーカー協会
第２０回実践発表　演題申込書

ふりがな		受付 No.
申込者氏名		
所属機関・部署名		
所属機関連絡先	〒 TEL　　FAX E－mail	
共同演者（あれば）	所属機関名	
演題名		
発表趣旨		

演題申込み先：　研修担当メールまで

⇨ hmsw.kenshu@gmail.com

（エイチエムエスダブル ドット ケイイーエヌエスエイチユー@gmail.com）

以下は、今までに発表された演題の一覧です。日々の実践報告、事例など様々なテーマが発表されてきました。共同発表の形式を取るなど、グループでの発表もＯＫです。多数の応募、お待ちしております。

過去の発表演題（例）

・「治療・制度利用を通して生活環境改善事例」
～難病・知的障がいの疑いから自助努力が期待できない場合～」
・「兵庫区地域医療連絡会　活動報告」
・「在宅療養後方支援病院としての取り組み　～MSW の視点から～」
・「公立八鹿病院における退院支援の取り組み～MSW の介入と多職種との連携～」
・「アルコール依存症治療病棟における入口と出口、社会資源の利用状況について」
・「どう生きるのか」にコミットし続けた僕の 2716 時間
～末期癌Ｋ氏と向き合った老健アットホームでの支援を通して～
・「児童虐待における MSW の実践～現状と課題～」
・「認知症になっても、高齢者、家族、周りの人々が困らない町を目指して」
一人一人に還る連携・ネットワーク構築を考える
・「一枚岩の会　実践報告 2～目の前の患者さんからこれからの地域共生社会について考える～」
・「学習することは楽しい？大変？～兵庫民医連 SW 委員会　学習担当者活動報告～」
・「療養場所選択支援の現場で何が起きているのか」
～予測生命予後 1 か月未満の患者群への退院支援結果より～
・「知的退行を伴う MELAS（卒中様症状を伴うミトコンドリア病）患者の就労支援の一例」
・「精神科病院での退院支援について　～自宅退院の障壁～　」
・「クライエントの退院支援の過程をバイザー・バイジーの視点で振り返って」
・「救急認定ソーシャルワーカーの役割」
・「　エアコン購入費に対する制度について　～外来での取り組みを通して～　」
・「ミクロからメゾ・マクロへの一歩
～認知症疾患医療センター　ソーシャルワーカー奮闘記～　」
・「判断能力が不十分な患者への退院支援におけるソーシャルワーカーのジレンマ
～発達障害の疑いがある患者の事例を通して～　」
・「自己決定って何だろう　～実際の援助からの考察～　」
・「神戸広域 MSW のネットワーク構築に向けて
～脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の取り組みを通じて～　」
・「ひょうご心不全療養指導士ネットワークについて～心不全と心不全療養指導士のお話～」
・「ソーシャルワーカーとして大切な事～病院・介護老人保健施設・在宅部門のソーシャルワーカーを経験して～」
・「１８歳頚髄損傷患者との関わり～回復期リハビリテーション病棟での取り組み～」
・「自宅退院困難群の分析から見える地域課題とＭＳＷの役割の考察」
・「一貫した支援のために～引継ぎに焦点をあてて～」